

BRITISH

JUNES 2012 CREATIVE COLLECTION



JOEWELL SUPREME SNT-40

PHOTO - TAKAHIRO TOHYAMA MODEL - KAWAKAMI / YOSHIKAWA / TAKESHITA / NISHIYAMA

HAIR - SHO MATSUMURA / HARUKA SAITO / BOWE / KAYOKO www.junes5.com







BRITISH
JUNES 2012 CREATIVE COLLECTION

JOEWELL SUPREME SNT-40









BRITISH

JUNES 2012 CREATIVE COLLECTION

JOEWELL SUPREME SNT-40

現場で働く理・美容師の

「使いやすさ」追求

2006年にグッドデザイン賞を受賞したジョーウェル・スプリームシリーズ。グッドデザイン賞とは、単純に美しいデザインだから選ばれるわけではなく、機能的にも社会を豊かにする「優れたデザイン」に送られる。そんな優れたデザインを作った東光舎が常に追求しているのは、現場で働く理美容師にとっての「使いやすさ」。その「使いやすさこそが、高品質なハサミ作りにつながる」と考えてきた。

そして2011年9月に発売された「SUPREME SNT-40」は、ウシ刃の先端に小さな溝を作り、髪を一本一本つかみ取るようにソフトな切れ味を実現した新製品。今回、東光舎の新製品「SUPREME SNT-40」の現場での使用感をBOWE代表に語ってもらった。

「作品撮りをさせていただいた際、本当に削ぎたい部分、場所など、細かい要求に対応してくれました。仕上げの細かいニュアンスを作るときには、他のどのハサミを使うよりも便利な一丁だと思えます。」

「デザインを追求するために何が足りない」。そんなプロが持つこだわりを満足させ、なおかつ数多くの理・美容師に使いやすいさの基準をまとめあげるために、製品開発担当者はあらゆるカット技法を学び、土地勘のない地方都市から青山・原宿など、有名店まで幅広く調査。その結果、行き着いたのが技術者として、こだわられるもう一丁のハサミ。

「ハサミのバリエーションとしてこの一丁を使えば、全体の流れにワンポイントでも“自分なりのデザイン”が入られます。するとこれまで以上にスタイル作りの幅が広がります。機能をしっかり理解すれば、色々な場面で使いたくなる便利なツールでしょう。」

「使いやすさ」という抽象的なリクエストに答えるためには、絶えず技術者の意見に耳を傾けること。だからこそ、品質の追求はエンドレスに続く。そうしてできた「SUPREME SNT-40」は、細かくディテールやさらに良いサロワークを目指すワランク上の技術者に向けられた製品。

「お客様は技術や知識、接客態度など総合的なサービスに価値を感じてくださっています。そして当然、営業で施術している技術者のテクニク向上を求めています。僕らはそんな要求に応えなければなりません。だから、少しでも高品質（使用感・機能・感性）なサービスに対応してくれる製品を求めています。この「SUPREME SNT-40」はそのとおり、もっと良いデザインを追求するために必要な一丁じゃないかと思えます。」



BOWE (ボウ)
JUNES 代表

1996年早稲田にメンズオンリーヘアサロンをプロデュース。その後3店舗をプロデュースし、2002年に原宿初のメンズオンリーヘアサロンを出店。業界誌、一般誌の撮影、セミナー、メンズプロダクツ開発で活躍中